夕刊
磐城新聞
七月五日發行
〔日曜祭日休刊〕

兒童劇革新論

淺野生

5

これでは兒童の作品としての教育的價値は疑問である。今日の手工教育は、圖畫教育と同樣に創作的價値を重んじてゐる點からしても、兒童作品としての假面についても、それが現はされ、個性的表現が欲しいものである。見る兒童から考へても、登場するもの丶個性を、くつきりと印象づけ理解させるには、假面によつてする方法が最も入りやすい道である。(脚本の内容は別として)ひたいにくつ丶ける假面では、それを表現することは全然不可能といつてい丶

鬼の面をひたいにつけた出演兒童が、相手のセリフのおもしろさに釣られて、ニコ〳〵笑ひだしたりするやうなおちこはしは、ひたいにくつ丶ける假面の不自然によるものである。顏が見えてゐるといふことがすでに、出演の兒童もその役になりきれない原因だし、見る方の兒童も、安心して舞臺の空氣に浸りきれない原因である。出演者も觀衆もこ丶で心理的分裂をきたし、純眞な感情の循環を止められてしまふのである

この大きな藝術上の不自然が、今日までつゞけられてきてゐるといふことは不思議である

種々な點に於て、ひたいにつける假面の不便と不合理は認めても、それに代るべき適當なものがないから、つゞけられたものだと思ふが、これも我々の劇團では、すでに完全な兒童劇用の假面の製作に成功した

從來の樣式とは全然製作方法を異にした、獨創的なもので、その獨創を確認される手段として『アサノメン』と名づけて新案特許を出願した。專門家の意見によると許可は確實であるとのことである

この假面の特長は、なんら特殊の材料を要しないで立體的で輕くて、かぶつても自由自在に活動ができること丶、寫實のどく〳〵しさをはなれて、童心に立脚した明るい、童話的な可愛らしいお面であることだ

しかも、不潔な惡臭をはなつ新聞紙とウドン粉などを貧つめた製法の假面ではなくて、教師でも生徒でも手輕にどんな動物の面でも自由に製作できる

現に、我々の劇團では各小學校の會に出演するたびに使用して、觀衆の歡迎されてゐるし、小學校でもわざ〳〵借用に來られるところもある位である

兒童劇展を見ても、假面については、我々の藝術と獨創とを特に強く感じた。私は空論は嫌ひだから、實踐した事だけを土臺にして言ふのである。私は五十回に近い我々の劇團の出演成績から、兒童觀衆の藝術的滿悅の狀況から、我々の假面が、將來の兒童劇の舞臺上に生氣を與へるものであると信じてゐる。(製作法については他の機會にゆづる

傷心集(一)

木村螢秋

○故郷に病み弱き祖母をひとり殘し家たつ吾やすべなかりける

○泣言も愚痴も年故とあらそはず三夜さはいねて家たたむとす

○そこばくの小遣は祖母に與へおき雪ふりつみし朝に家たつ

○なげきつつ夜寢いぬれば佗しもよ夢にだにみる祖母が面ざし

○悲しみに歎くならねどふる里に殘し祖母の思ほゆるかも

○むらぎもの心を張りて生くるべきわが現し身のなげきぞ思へ

芝蘭集　七

季節『秋』　磐州　直元

萩　寂しきを秋の暮とは知りながら憐さ添ふる萩の音哉

秋田　み寶の夕日㬎ねし勞は田毎々々に現れるけり

秋分　秋風よ心して吹け草叢の虫の鳴く音に障りもぞする

湖月　唐崎の松吹く風や漱くらん小波清く照す月影

初秋月　はた薄穗に出し秋の月影は小萩の露の光なりけり

『冬』

狩野雪　降る雪も打消たれまし大君の御狩の火筒ならし野の原……

發雪　白雲のおりゐるがこと思へしは去年のみ雪のしるしなりけり

冬花　雪の朝霜の夕も他處にして獨薫れる庭の山茶花

冬湖　さやかにも底の玉藻の見ゆるまで凍りも果てぬ山の湖

遠山雪　青雲の棚引く極見渡せば空の山にも別ぬ雪哉

海邊松　年波の寄るや磯邊の岩根松苔さへむして幾世經ぬらむ

雜　(其の一)

乙丑元旦　國の爲重荷負ふとも撓むまし牛の力のあらむ限りは

若水　行末は千代に八千代に清けれと契を結ぶ今朝の若水

寄國祝　擡き立し國の御柱とこしへに動かぬ御代ぞ尊かりける

豐年祝　小鳥さへ色つく秋の小山田に千代呼び交し鬀ひ遊ぶ哉

今はもう

鴻以智

あの男はよく言つた
……
私が詩(?)なんぞ書いたつて
出來ないことは解つてる
嗤はれるのも解つてる
だけど何を希望で生るんだ
灰色の空氣の中で
空虛の呼吸をして
生きてる丈けが私の姿さ
『死んだら?』と言はれるけれど
そんな元氣があるならば
いつそ詩なんぞ書くものか
……
詩は空氣の囈言だけど
そんな男は死んぢやつた
詩さへ殘さず死んぢやつた
……
そして誰にも忘られた
墓標は草に隱れてる

7月6日　△士分に閉門の仕置を定む(寶永元)△露國廢帝銃殺さる(大正七)△内田康哉伯外相就任(昭和七)△東邊道一帶肅正のため皇軍匪賊大討伐を開始(同八)

社會の今日

○

目覺むれば閉きし儘の扇かな　久一郎

月のさす縁にいづればさしなみの、向ひの家に吊りし蚊帳見ゆ　三ヶ島葭子

講談　浪人長屋

(131)　日岐武志作　月草道子畫

凍死?

ばう〳〵〳〵……

遠く、けものゝ吠える聲がきこえる

靜香は、ふと、耳をそばだてた

『風が、吠わてるのではないかしら……』

かなしい事に、それは、きゝ馴れた風の吠え聲ではなく狼、山犬の遠吠えで、

後はまた、もの凄いばかりの冬の山風が、ごうッとひとしきり吹きすぎると、再びしーんと、元の靜けさにかへるのだ

しん〳〵と、底冷する寒さが、肌に沁みる

後ろに縛された手首に、荒繩が食ひ込んで、ひりひりと痛む。手足が凍わて來た

『これしきの、苦しみに負けてはならぬ』

靜香は、きッと、弱るこゝろをおのづから力づけた

『小菊さまは、今ごろどうしておいでやら、一平とやらに拐はれたとか、小菊さまのご辛苦をおもへば一時も、あたしはかうしちやゐられない……』

靜香は、必死となつて身をもだえた

しかし、手足にからみついた荒繩はもがく程、いよ〳〵肉に食ひ入るばかり

『あゝどうせうぞね』

と、嘆く聲も、猿轡に遮られてやがて、靜香は、凍わ果て、ぐつたりと、意識を失つてしまつた

外はいつしか、しん〳〵と降りしきる雪であつた

しばらくすると、小屋の表に、雪を踏む足音がサク〳〵と近づいて板戸の前までくると立ちどまつた氣配

ガチャ〳〵と、錠を鳴らしたが開けようとしないの

ば、合鍵がないためか

突然

どん、どん、どん

と、板戸を強く叩いた

どん、どん、どん

『もし〳〵、誰か中にゐるのぢやないかね』

若々しい男の聲であつた

『ゐるなら返事をして貰ひます。おいら助けに來たんだ、惡い奴ぢやないんだから安心してゐるなら返事をしておくれ』

どうやら少年らしい聲であつた

しかし、意識を失つてしまつた靜香の耳には、この救ひの聲はきこえなかつた

『はーてな、返事がないのはをかしいな。この小屋といへば、この小屋にちがいないとおもふんだが……』

さう、つぶやいてゐた

『よし、とにかく——』

何事か氣がついたらしく矢庭に丸太ん棒か何かで

どしん、どしん

と、板戸を叩き出した

古びた、板戸だつたから忽ちメリメリッとはめ板が打ち破れてしまつた

『よしつ』

さういひながら、提灯を片手にして破れ目から中へ這入つて來たのは、まだうら若い少年、かのお蝶の弟分權吉であつた

『あッ』

縛られて、そこに打倒れてゐる若い女を見出すと權吉は少しぎよッとしたが

『やつぱり、さうだつた。』

追分の靜香さんだ、うんまだ溫か味があるから大丈夫だ、よしかうしちや、あられないぞ』

權吉は七間のまん中へ藁屑や枯れ枝などを掻き集めて急いで提灯の火を移した藥はぱつと、燃わあがつた

磐城家庭婦人會
皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ましたどうぞ御試用下さいませ。
親切。迅速。
◎會員募集(入會金ト維持費ハ申受マセン)
平町字田町五(元郵便局ウラ)
駒井ヒデ
電話三九九番(呼出)

耳鼻咽喉科專門
平町南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
(入院隨意 病室完備)

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

廣告

電話六四〇番
皆樣のタクシーへ……
此度は夏にふさはしいすが〳〵しい色彩のニーアクション裝置が入車致しました、自動車の御用命は電話六四〇番を御呼び下さる皆樣を新車と共に從業員一同御待ち申して居ります。
新車も揃ひましたから遠乘の御用には特に御相談に應じます。
尼子タクシー
電話六四〇番

貸切り
專門優良車
乘心地の超特快適な三四年型デラツクスセダン着
何卒御用命願ひます
平町四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

内外建築材建具材
磐城國平町(公園下)
阿部材木店
阿部好利改メ(登)
電話四九四番

夏の通學服
15日ョリ
●小學用霜降小倉服……40ヨリ
●同上口……85ヨリ
●同特製……1.20ヨリ
●中學用同……2.05ヨリ
第二第三制服も二三日中に揃ひます。
ふかや洋服店　平三 電203

磐城鐵工機械同業組合

夜間診療
胃腸性病
内科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
(平町南町電一〇七番)

東京株式取引所 短期實物取引
治 角治商店
電話茅場(66)一三七一 一三七二 一三七三 一三七四 一三七五 二四五六 八四〇 四五六五
東京市日本橋區兜町一ノ四電略(カ)又ハ(カクヂ)

公社債、株式現物賣買
治 角治株式店
平町本町三丁目 七十七銀行隣り 大谷時計店裏
電話七三番
株式日報營業案内御報進呈
主任山田芳藏

外科全般
特ニ内臟外科及ビ内、外、兩域疾患
醫學博士 渡部義夫
小兒科、内科
女醫 渡部きい
平町役場前、電話(二七七)
渡部外科
入院應需
診療午前八時ヨリ午後九時迄

魂の這入つた
自轉車
フタバ式リヤカー發賣元
フタバ商會
平・新川町・月見橋際

御融通案内
一、掛金擔保
一、不動產擔保
一、有價証券擔保
利子日歩二錢五厘(手數料調査費等頂きません)
但し當會社無盡の加入者に限ります
湯本信用無盡株式會社
電話四七番
振替仙台七九六四番

九十二三度の暑熱に 地上一切の生物は喘ぐ
雨は當分望み無い觀測

愈々本格的な灼熱の夏は展開された、神谷農試分場調査の昨四日の最高屋外氣温は八十七度四、平町は屋內すら九十三度に上つた今五日もグン／＼上昇して午前十時現在で早くも八十四度五、平町の午後一時二十分は之亦屋內で九十二度五分に上り地上一切の生きとし生けるものは悉皆茹だつて了ひ肩で息する有様である、之の照りは當分續くか？、小名濱測候所の觀測では積風涼しい同所すらけふ正午現在が三十度（八十六度）の高温、高氣壓が小笠原島附近に擡頭して南寄りの温い風を誘致するので温度は下りそうにも無い、恁うした具合で今の處低氣壓の氣配が見えず悉皆梅雨の形から脱却したので差當り雨らしいものを望めぬが高温に醞釀さるゝ雷雨性のお濕り位はあるかも知れぬ。云々

農作に結構 郡農會では語る

昨今の照りに就て郡農會では〝灌漑川の渇水から植付た苗に支障を來すやうでも困るが梅雨上りの爲發育にも非常によいいくら照つても野菜類にはさして被害はないだらう〟と語つてゐる

社宅世話役を廢し 福利增進に努力
磐炭親和會の新陣容

磐炭に於ては今月一日より社宅世話役の制度を廢し在來の勞資協力機關たる親和會の會則を改訂し、金山を上層、蜂根、平太郎、町田宮澤、御殿、綴、平の八支部に分ち、從業員より正副支部長、書記及八十四名の世話役を互選し勞務課長之が會長となり、副會長、理事、贊助員等には幹部役員を以て之に任じ、所長は總裁として之を統御する事とした、而して其事業の重なるものは能率增進及災害防止、保健及衞生、生活改善及互助共濟、教育及修養並律及風紀、慰安及娛樂、會員の幸福增進に關する事項其他必要と認むる事項等である

奉安庫奉遷式 平商

第一、第二三校奉安庫の清淨祭は來る十日午前九時から執行、終つて奉遷式を擧行する

郡提案通過
縣小學校長會了る

縣小學校長會は三、四日の兩日田村郡三春小學校で開催されたが郡支會提出の協議題

本年四月三日御下賜の勅語の御趣旨貫徹方案如何

本協議會をして一層權威あらしむる方案如何

は何れも滿場一致で通過し本平第二津田外八氏の委員を揚げ即日委員會を開き大体原案成つたが來月一杯に成案し以後全縣下に採用すると、尚次回の同會は双葉郡浪江に於て開かれると

國漢學習會
湯本町で發會

湯本町縣社温泉神社々務所及磐泉詩吟社主催の漢籍國文學習會は磐崎村出身元相馬中學教頭從六位石川寅之助氏を講師とし同町消防詰所樓上に於て一昨三日夜發會直に十六夜日記と同氏著論語新解に就て講義を開始したが今後毎週火曜日の午後七時より續行する筈で現在會員は三十名程であるが漸次增加の見込みであると

路面洗ひ併用の 新撒水車購入計劃
平町警備委員會で協議

平町の撒水自動車は數年前磐炭から讓り受けたもので永年の使用から最近漏水其他の故障が起り勝ちなので同町でも成るべく消火を兼ね鋪裝實現後の路面洗滌にも併用出來る近代的新車を購入し度い意向の下に明後七日午後一時から警備委員會を開き種々協議する事になつたと

海軍 職工 募集

横須賀海軍工廠速成職夫第二回募集人員は本縣下から二百名と決定、町村長の推薦により來二十日迄福島職業紹介所に申込んだ者に對し九日から十二日迄若松福島の二ヶ所に於て採用試驗を執行、合格者は來月二十日入所せしむるが平町では二名の推薦が一名も採用されなかつた前回の不成績に鑑み志望者の受理を嚴選すると

平局去月現勢

平局の去月中の現金受入總計は六〇五、二七八圓六六〇（前月六三六、一五四、九八〇）拂出は六〇三、二〇二、四七五（六三六、二七六、六五〇）で受入三萬八百七十六圓三十二錢、拂出三萬三千七百四圓十七錢五厘の何れも減であるが貯金受入は六、八三一口（七、三二七）一三九、五七五圓八一〇（一二四、五八一、〇八〇）で口數に於て四百九十五減じて居るが金額は一萬四千九百九十四圓七十三錢の增で拂出は一、八三六口（二、〇六七）一二、一七三、二一五で之亦金額に於て增加を示してゐる

仙臺の衣類大盜
小名濱に潜伏中捕はる
客臘娑婆へ出た男

小名濱町本町長瀬活版所雇入菅野賢信(三七)は去月五日仙臺市花京院通り河北新報社員佐々木茱方留守宅に忍び入り女帶二本外衣類數點(價格百圓)を竊取し小名濱町に潜伏中を仙臺署の手配により昨四日夜逮捕され今五日身柄を引渡したが同人は昨年十二月懲役八年の刑を終へ盛岡刑務所を出獄した男である

平商年團 體育大會
會場は第三校庭か

平商年團の第六回町民体育大會は既報の如く來る十五日開催さるゝが會場は磐中校庭が縣下中等校体育大會準備に多忙なため第三校庭に於て開催されるらしいと

磐女競技練習

磐女競技部では後二旬に控えた大會を前に連日猛練習を續けて居るが今五日より三日間は東京高師の名ランニング、ハードル選手小林孝治君を招き陸上競技全般のコーチを受けると

警察の肝煎りで 貧困虛弱兒養育所開設
横山署長當局へ折衝

平署では縣からの補助により昨夏最初の試みとして新舞子海岸に三小學校虛弱並に貧困兒養育所を開設七十餘名を收容、好成績を擧げたので今夏も實施すべく横山署長から過般の署長會議に於て夫々開陳する處あり大抵昨年同樣約一週間位每日自動車で往復開設されるものと觀られてゐる

名審判來援
縣下中等野球追る

旋風的前人氣を呼んで愈々目捷に追つた縣下十七中等學校野球爭覇戰の審判員は愈々我國野球審判界の第一人者明大出身（現徵知新聞社員）天知及法大藤田兩氏が來平する事に決定、早大の岡田氏にも交渉中で尚早大現役五名、其他大學選手四名も球、壘審判に加はる筈であると

古河礦豪組 縣下大會へ

縣体育協會主催の第六回近縣男子庭球選手權大會は來る八日福島高女コートに開催されるが地元からは去る一日の關東北大會に北日本の雄仙鐵の島—木川組と對戰惜敗した古河の鈴木—八木沼組其他數組の出場あるらしいと

求職者減少
去月中の平紹介所

平職業紹介所に於ける去月中の成績は（求職）男五一、女八、計五九（求人）男五四、女七一、計一二五（就職）男三八、女一、計三九（延就職）男二、女一七で求人の主なるものは製絲女工の五十九名、日雇人夫の三十八名が多く求職では同樣日雇の二十五名が最多であると、尚昨年同月に比し求職六十四名、求人一名何れも減少である

爽涼の秋を神佛都へ 出雲から善光寺參り
湯本温泉神社で團体募集

大社教東京出張所主催の出雲大社參拜團体は一般來湯本町縣社温泉神社々務所でも之れが募集に當つて居るが右團体は今秋十月二日夜東京驛發、第一日—東京驛發、第二日—京都着、第三日—同上發奈良着發大阪着發、第四日—大社着、第五日—同上發天の橋立着發、第六日—金澤着發長野着、第七日—上野驛着解散

之が費用一切東京から二十五圓で希望者は金五圓を添へ前記温泉神社々務所宛申し込まるべく人員は四百人であると

好結果を收めた 配達十一區制
平局で永久實施か

平局では一號便の速達を圖るため既報の如く從來の市內配達區域六區を十一區に改編保險外勤員を動員して去る一日より實施したが各配達手の歸局時間は

	最速	最遲
一日	八時五〇分	九、四五
二日	八、五一	九、四六
三日	九、〇〇	九、三五
四日	八、五五	一〇、〇〇
五日	八、四〇	九、四五

で以前の最遲十二時近くに比し平均九時十分內外に短縮された許りか俄に分擔變更された保險部外勤員が現在の未熟から訓練を積んで來ればより一層の好果が擧ぐるものと期待され之の好結果を得た同局では多少の犧牲を拂つても或はこの儘永續するではないかと觀られて居る

中京に夏を語る
土木出張所長 金古久次氏

五尺八寸三分、二十二貫餘の巨軀を長椅子にもたせかけて上野杉ノ町の官舍の夕べを寛いでゐる內務省名古屋土木出張所長の金古久次氏（磐中第一回生平町出身）見れば見るほど偉大な体格だ

——失禮とお幾つですか

——五十三だけど、力較べならまだ若い人に負けんよ

『人生は四十から』なんて言葉があるが、この所長さんにはまだまだ『人生は五十から』だらう

——僕みたいに太つとると夏はやりきれんね、名古屋の夏はエライと聞いとつたが全くエライな、さあ！ッと大雨でも來んかな

金古さんは風影のないくらい空を見上げる

——大雨で思ひ出したが利根川改修工事の最中に大雨でひやッとするやうな目にあつたよ、大正八年ごろだつた、佐倉宗五郎で有名な印旛沼の氾濫が心配になつたんで、ぐわアぐわア音をたてゝをる川へ調査ランチを出したんだね、ところが流されちやつて橋の杭にランチが横づけになり、それが物凄い濁流の壓力でぐッと船底が押しあげられて横立ちになつちまつたんだよ

——僕はすぐ橋に獅嚙みついて先へ上つた水夫に助けられたが、船長は水に呑まれて悲鳴をあげ〳〵よく助つたものだと思ふね、僕はランチが横立ちの瞬間、どうして橋につかまつたものか、その時は案外落ちついてゐたんだが、後で考へれば考へるほど本當にぞうつとするよ、橋の杭が船に加はる水の壓力で傾いてしまつたからね

——それに大雨だからレイン・コートを着てをるゴムの長靴をはいてをるんぢや濁流に落ちこんだら助かりッこないからね僕ゃそれからは大水には斷じて船に乘らんことにきめたね、大雨が降るとすぐ思ひ出すくらゐ參つてゐるんだね……この話はまだ誰にも話さないで內緒にしてゐたんだがねなに？身体に似合はず小心者だつて？その身になつて見なきア、眞に迫る氣持つてものは解るもんぢやないよ

所長さんは豪傑風に太く笑ひながら厚い胸板に團扇でゆつくりゆつくり風を送りこむのである

三稅務署 屬送別會

今回の稅務官吏異動により平から仙臺署に轉任した三品三代治氏の爲石城法人稅務研究會では古川行の大場辰雄庶務課長及志津川行の岡部輪雄屬の兩氏と併せ明後七日午後六時より住吉屋本店に於て送別會を催すが會費金二圓であると

入船女將の 無届煙突公判
判決は來十日

不始末から小火を失し無屆煙突使用の廉で拘留二十日を言渡され不服で正式裁判を申立てた平町南町飲食店入舟事服部セツ(四五)に係る福島縣令煙筒取締規則違反事件の公判は今五日午前十時から平區で中島判事、濟田檢事係り、山野邊、門傳兩辯護士立會、南町火防組、同業者等々多數傍聽の下に開廷、型の如き審問後證人としてセツの夫阿部要右エ門を喚問、檢事の論告あり辯護人交互に科料の懲戒を論じ閉廷した、判決は來る十日

鬱憤晴しの放火に 懲役二年六ケ月
けふ平支部の判決

磐崎村藤原高木喜吉(五八)に係る放火事件は今五日午前九時から平支部で中島裁判長係り開口、香西兩判事陪席、清田檢事關與、山野邊北川兩辯護士立會の下に公判開廷、求刑三年に對し懲役二年六月の言渡しがあつた

勿來繭市閉場

勿來繭市場は去る卅日を以て閉鎖したが總取引きは貫目計六千八百三十七貫二百四十匁（價格一萬四千八百七十三圓十九錢）で昨年同期に比し二千二貫百六十匁の增量であつたに反し安價の爲收入は著しい減少であつた

相場左の如し

	高	安	馴
白	二六八	一八〇	二三三
黄	二六八	一六〇	二二七

鋪裝寄附送金 平町

平町では國道鋪裝費三分一の五千圓を一昨三日縣に送つたがこれはローラー（七噸重量で約四千圓位）その他器具費に殆ど全部を當て來る十日頃の着荷をまつてドシ／＼進捗を圖る事になつたと

野。球。寄。附。協。議。

青沼平町長は今五日午前湯本に出張入山炭礦其他關係者と縣下中等學校野球大會寄附金に關し打合せた

國井義氏推薦

上、下小川組合村長は過般來柴崎佐之吉氏外五委員により詮衡中昨四日午前十時選擧會を開き既報元同村長國井義氏を滿場一致推薦交渉を開始した

住込み早々前借踏み
文通の形跡を辿り 平署へ莫蓮女の搜索願

宮城縣登米郡寶江村亡父東次郎長女倉田タミ(二八)は去る四月二十八日前借三百圓で東京市城東區龜戸町三丁目四一飲食店峯中ふじ方に住込み一週間たゝずに前借を踏倒して逃走したが磐崎村大字上湯長谷佐藤某と文通した形跡あるので此程母親が搜索方を願ひ出た同人は曾て東京でカフェー、レヴュー團などを渡り歩いた女であると

學校彙報

○。○。○。○。古川視學巡回日割 古川縣視學の郡內巡視日割次の如し

五日—夏井、高久 六日—飯野、神谷 七日—內鄕第二、同高坂 九日—內鄕第一、同第三 十日—湯本、入山 十一日—磐崎尋高、同第一、同第二 十二日—玉川、好間 十四日—赤井第一、同第二

○。○。○。○。第一校自治講話 平第一校では夏季休暇中に於ける兒童の自治心を促すため來る十七日の級長、組長會で自治精神喚起の講話を行ふと

○。○。○。○。平商審査會 平商校では明六日五、四年生の操行査定會を開くと

○。○。○。○。腐爛死体發見 去月二十一日朝出漁中激浪に呑まれ行方不明となつた豐間村大傚網漁夫伊藤德松(三九)は今五日午前十時頃腐爛死体となつて同濱に打ち上げられてゐるを漁夫が發見、平署で檢視

○。○。○。○。高田氏寄附 平町材木町木材商高田由衞氏は此程愛女玉惠さんの誕生祝として平第二校一ノ四組に太鼓一個を寄附した

○。○。只乘 住居不定無職石川縣江沼郡矢田野村生れ上田埋吉(三九)は去月二十八日茨城縣鹿島參宮線大造驛同濱驛間の切符で平驛まで乘車し此程平區より略式で罰金二十圓

賣家

新田町中央目拔きの場所

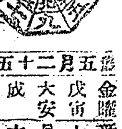
二階 六間

階下 四間

希望者御來談を乞ふ　（姓名在社）

六日

日出 四、三〇　月出後 二、一八
日沒 七、〇〇　月沒後
滿潮 前　後 二、一五　干潮 前七、二〇 後六、五五



新七月六日 金曜
舊五月二十五日 戊寅 大安 成 牛宿

高島易斷總本部 神宮館

▲一白の人 一面に幸運が負ふも他面に悲運が含む注意▲二黑の人 暗事錯綜を來たさんとする日進むも功なし▲三碧の人 氣分が平靜に事に當りて勵する事なくば吉▲四綠の人 利が得るに先立ち內容の充實を謀るに宜し▲五黃の人 重量に堪えず朽らし橋の落つるが如し危險▲六白の人 位階高くも人に誇るな卑下して人に交り吉▲七赤の人 計畫大破する日萬事退むは凶盜難遺失注意▲八白の人 富裕に馴れて浮華に流る可らず衰兆が呈す▲九紫の人 旺盛の氣運が迎ふ開店起業好果を結ぶべし

開業披露

三十四年式セダン型の貸切自動車を是非一度御試用下さい。

常磐線四倉驛前通り

四倉タクシー

酒井忠太 電話八番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

醫學士 吉田久雄

お醬油は……ヤマフル

味噌醬油 たひら正宗 鰹節 食料品

釀造元 **山崎合名會社** 磐城郡平町 電話（營業部一〇番 本店二七番）

明治生命磐城代理店 山崎與三郎